

オージーの仕事

オーストラリア人の転職回数（P9のアンケート結果）から、「仕事」の仕方や姿勢に焦点を当てて検証してみます。そして、オーストラリアでの「仕事」の仕方の工夫を編集部から提案します。

オージーは転職を繰り返す!?

日本とオーストラリアの仕事に関する違いの最たるものとして、勤続（①）が多いか、転職（②）が多いかが挙げられます。近年、日本では終身雇用制度が崩れたと言われていますが、それでもいまだに長期雇用の慣習は根強く残っています。また、日本では長期的に働ける安定した職場を求め、大企業や公務員への就職を目指す人が多いと言われています。それに対し、オーストラリアでは長期の勤続は稀と言われ、終身雇用の保証のある企業はほとんどありません。それどころか、業績が悪化し、必要ないと判断されてしまえば、簡単にリストラされてしまいます。日本では社内ですべてをこなしていきませんが、オーストラリアでは転職を繰り返し、より良い待遇の企業に勤めることでキャリアを積んでいくのです。



①勤続

勤続年数10年以上の日本人の割合は52%、それに対しオーストラリア人の勤続年数10年以上の割合は26%でした。
出典：日本国内閣府

②転職

オーストラリアで働く人の転職が多い理由の1つとして、転職活動がしやすい環境であるという点が挙げられます。その環境を作っているものの1つが、失業保険です。オーストラリアでは、日本よりも失業保険の内容が充実しています。そのため、職を探している人が経済的に後ろ盾を得た上で、転職活動に専念することができるとも言えるでしょう。
出典：日本国厚生労働省、Department of Human Services

パース
ならではの
“門出”
提案

9 的を射た勉強をする

オーストラリアの転職で大切なことは、専門的な勉強をすることです。希望の職種がある場合は、専門学校や大学などでその職種に直結した専門的な勉強をしましょう。

10 資格を取得する

知識と経験の他に企業にアピールできることは、所持している資格です。その資格が企業の求めるものであれば、採用までの大きなアドバンテージとなるでしょう。

オージーの仕事は効率的!?

朝から全力で仕事をし、残業（①）せず、定時帰宅は当たり前、家族との時間を最優先するのがオージースタイルです。日本は「仕事のための生活」という考え方の人が多いようですが、一般的にオーストラリア人は「生活のための仕事」という考えを持っています。職種などにとらわれず、生活していくための収入があり、家族と過ごせる時間がたくさん取れれば、それで十分なのです。家族愛に溢れた彼らは、会社のデスクに家族や恋人の写真を飾り、それを見て仕事を頑張っている人も少なくないようです。日本人に比べ、ストレス（②）を減らし、仕事とプライベートの切り換えを上手にこなしているオーストラリア人、そんな彼らの効率の良い働き方は、間違いなく参考に値するでしょう。



①残業

2003年のAustralian Bureau of Statisticsの調査によると、オーストラリアの約30%の人々が残業しているのに対し、日本では62.5%が残業しているということが2014年の厚生労働省の調べで明らかになりました。日本ではオーストラリアの倍以上の人々が残業をしていることになります。
出典：日本国厚生労働省、Australian Bureau of Statistics

②ストレス

日本での「現在の仕事や職業生活に関することで強い不安、悩み、ストレスになっていると感じる事柄がある労働者」の割合は52.3%で、それに対しオーストラリアで強いストレスを感じながら仕事をしている人の割合は、わずか12.6%でした。
出典：日本国厚生労働省、Safe Work Australia

パース
ならではの
“門出”
提案

11 スケジュール帳を活用する

スケジュール帳を活用してタイムマネジメントを身につけましょう。スマートフォンやパソコンのタイムマネジメントアプリケーションを活用するのも方法の一つです。

12 家族や恋人の写真を飾る

家族や恋人の写真を会社のデスクに飾るもよし、常に持ち歩いて、眺めるもよし。日本人にとってはちょっと新鮮で、モチベーションアップにも繋がるでしょう。